

令和7年度 基本方針

鹿児島県弓道連盟

○はじめに

全日本弓道連盟の方針に沿って実施し、開催方法は新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等考慮しながら、従来の全事業を実施する。

昨年は、新型コロナウイルスがまだ収束しない中、集合時間の考慮、観客の対応など、県内の主な大会や講習会、審査会を工夫しながら実施することができた。離島ではビデオ審査も実施することができた。

このような状況の中であったが、全日本男子選手権で最高得点をあげた橋本氏を始め、全日本女子選手権の入賞、全日本遠的選手権大会の入賞、佐賀国スポでは、少年男子が遠的、近的とも入賞し、加治木中学校や鹿児島大学が全国1位を獲得するなど多くの成果を上げることができ、また多くの昇段昇格の方も輩出することができた。

今年も、このような成果から真摯な態度を引き継ぎ、さらに会員の技術力競技力の向上を図ることが重要であると考えます。
会員皆様のご協力とご助力をお願いします。

○ 令和7年度の重点事項

- 1 会員相互の融和と親睦を図るとともに、支部・県弓道連盟の活性化に務める。
- 2 県内各種大会をはじめ、全国大会・九州大会への参加と、会員の意識向上と技術力、競技力の向上に努める。

- 3 会員の技術向上には、基本に徹する体配・射技射法の修練が重要である。

そのため、審査会・講習会・大会の充実に努める。さらに、各支部の向上を奨励するとともに会員が自らを高める稽古に専心する気運を醸成するとともに、互いに協力しながら、切磋琢磨する弓道修練を推奨する。

- 4 底辺拡大と会員の確保のため、初心者弓道教室等の開催や経験者の発掘を図るなど、受入れ体制の充実、拡充に支援を行う。

また、学生・生徒の弓道人口の充実と技術の向上が重要であることから、大会の運営や支援の充実に努める。

- 5 コンプライアンス(法令遵守)の徹底、暴力・ハラスメントの根絶、矢羽の使用に関する準則の遵守ならびにアンチドーピングの徹底を図る。